

# 第154回 SRMクロスオピニオンセミナー

◇SRM クロスオピニオンセミナーは、スピーカーと参加者(大学、研究機関、企業、消費者、メディア、行政他)が、消費者・生活者の安全と安心をテーマに、自由に意見交換するためのプラットフォームです。(SRM: Social Responsibility Management)

日時： 2021年12月16日(木) 午後  
 テーマ： 安全と安心のために 何がなかを考る  
 会場： オンラインセミナーにて開催

## <プログラム>

受付	12:30~13:00	会場前にて受け付けます
講演	13:00~14:40	(100分間 質疑応答含む)
テーマ	「 ISCC認証取得の拡大 ISCC認証とは (※ISCC: 国際持続可能性カーボン認証) ~SDGsの取り組みが企業・消費者へ与える影響の例 」	
講師	原島 圭介 氏	株式会社 Sofi Stage 代表取締役社長 品質と安全文化フォーラム事務局 特別顧問
【講師からのメッセージ】 今年に入り ISCC 認証(International Sustainability and Carbon Certification、国際持続可能性カーボン認証)を取得する企業が増加しています。ISCC 認証とは、再生可能エネルギーや温室効果ガスに関わる認証で、SDGs の取り組みのひとつです。 EUはEU指令にてすべてのEU加盟国に対してバイオマスの持続可能な生成と処理方法に取り組むことを要求し、ISCC 認証(ISCC PLUS)では、EU 域外を含む全世界の製品を対象に広げています。ISCC 認証が日本企業や消費者に与える影響を皆様と一緒に考えたいと思います。		
休憩	14:40~14:50	
講演	14:50~16:30	(100分間 質疑応答含む)
テーマ	「 品質不正を起こさせない実効的な方策とは ~『日本品質』への信頼を取り戻すために ~ 」	
講師	南波 裕樹 氏	大成設備株式会社 常勤監査役
【講師からのメッセージ】 品質不正が後を絶ちません。近時の三菱電機事案では、長年の UL 認証不正、開発性能検査不正等が公知となりました。しかし、これまでの数多の調査報告書は、情緒的、精神論的、抽象的な弥縫策ばかりです。 規格や認証、検査自動化・AI 化などは、合理化ツールであっても不正防止策とは違うようです。不正の連鎖を阻止し、再び「日本品質」への信頼を築くには、どのような抜本的・実効的な施策を講じるべきか、さまざまな角度から皆様と一緒に考えたいと思います。		
16:30~17:00 (実際は17:30頃まで) 講師を囲んで、全員参加のディスカッション (司会:中嶋 洋介)		

## ◇ 意見交換会 (中止) ◇

◆日時： 2021年12月16日(木) 17:30~19:50 (SRM クロスオピニオンセミナー終了後)

### ◇ SRM クロスオピニオンセミナーの参加申し込みについて

1. 定員	45名様		
2. 申込受付期限	2021年12月10日(金)まで		
3. 参加費 (消費税込)	法人メンバー	1名分支払い済	2人目以降: ¥9,800-/人・回
	個人メンバー・理事	¥10,000-/人・回	
	一般法人の参加者	¥12,000-/人・回	2人目以降: ¥11,000-/人・回
	一般個人の参加者	¥11,000-/人・回	
4. 申込方法	申込書に、必要事項をご記入の上、FAX 又は E-mail にてお申込み下さい。 FAX 03-3852-5239、 E-mail: nick.nakashima@rrqc-forum.or.jp		
5. 参加費の支払い	銀行振込 : 請求書をお送りします。(※当日現金払い: 受付の際に、領収書をお渡します)		
6. 参加方法	Zoom によるオンラインセミナーでは、参加のための URL を送付します。 対面セミナーでは参加証をお送りしますので、当日、参加証を持参してください。		
7. 配布資料	セミナー開催日の前日までに、『データ便、ご指定メールほか』でお送りします		
8. キャンセル 及び返金と請求	◇セミナー開催日の前日までに、メールにて、ご連絡下さい。 ◇開催日当日のキャンセルは、キャンセル料(参加費 50%)をお支払いいただきます		
9. お問い合わせ	中嶋(代表)宛 携帯:090-7215-5969 E-mail:nick.nakashima@rrqc-forum.or.jp		

### ◇ セミナーの運営ルール(Rev.1)について

【運営ルール 1】	当セミナー内での発言は参加者個人の自由な考えに基づくものであって、企業の公式な発言ではありません。このことをご理解下さい。
【運営ルール 2】	議論した内容及び参加者各人の発言は当セミナー限りとし、他言無用として下さい。但し、発言者と所属を明かすことなく、また推測できるような情報を省いた状態であれば、当セミナーにて議論した内容について、第三者と議論されることは自由と考えます。
【運営ルール 3】	当セミナーで議論した内容を文書などにして参加者の組織内に開示する場合は、参加者及び主催者の名誉・利益を傷つけることのないようにすることをお約束下さい。
【運営ルール 4】	発言者が、当セミナー内での発言の修正・撤回を求めた場合及び出席者が発言者の発言の修正・撤回を求めた場合、主催者は出席していた全員に修正内容を伝えることとします。
【運営ルール 5】	セミナー内で活動する場合は、事務局の指示に従ってください。
【運営ルール 6】	当セミナーの参加者は上記の運営ルールを承認しているものと看做します。

### ◇ 次回セミナーのご案内 2022年1月20日(木) 第155回 SRM クロスオピニオンセミナー ◇

(1) 「(仮題) 最近の消費者安全課の業務(事故調査委員会の業務も含む)」 大森 崇利 氏 消費者庁 消費者安全課 課長
(2) 「(仮題) 鉄道事業の品質と安全」 花本 健二 氏 東海旅客鉄道株式会社 安全対策部 次長

※オンライン開催予定ですが、状況が許せば対面式開催を検討するつもりです。